

ひかりが丘住宅線及び生駒ニュータウン線

第7回 三者協議 ニュース

このニュースは、ひかりが丘住宅線及び生駒ニュータウン線を今後も持続可能な路線とすることを目標に、「住民」「奈良交通」「生駒市」の三者で利用促進に向けた話し合いを行った内容をお知らせするものです。

今回は、令和6年3月にひかりが丘住宅線及び生駒ニュータウン線の運行継続が決定したこと、今後も利用促進が必要であることを確認しました。その後、グループに分かれて、ひかりが丘住宅線及び生駒ニュータウン線の利用促進のアイデアを話し合いました。

【開催概要】

日 時:令和6年6月14日(金) 19:00~20:30

場 所:ひかりが丘集会所

参加者:28名(ひかりが丘 18 名、あすか野 3 名、あすか台 1 名、白庭台 1 名、西白庭台 1 丁目 1 名、西白庭台 2 丁目 1 名、上町 1 名、北田原 1 名、辻町 1 名)

【今回のプログラム】

1. ひかりが丘住宅線・生駒ニュータウン線の運行継続について
2. なぜ今後も利用促進が必要? 3. これまでの振り返り
4. グループワーク 5. 次回について



当日の様子

利用促進などのアイデア

グループワークで考えた利用促進の主なアイデアは、以下のとおりです。

自分が主体となり取り組めること

周知

- ・百歳体操や高齢者向けサロンなどの集まりの際にバス利用を呼びかける。

乗車機会の創出

- ・乗り方教室を開催し、その際に定期券を購入してもらう。

利用者の声を聞く

- ・実際にバスを利用している「ふれあいクラブ」の方に三者協議へ参加してもらう。

地域の店舗や行事との連携

【店舗と連携】

- ・バスを使って地域のお店に来店すると、1品無料もしくは100円引き優待券がもらえるようにする。

【行事やイベントと連携】

- ・バス運賃100円DAYに合わせて自治会の歩こう会を実施する。
- ・多くの利用が見込まれるどんどご祭りの日は、収入を確保するためにバス運賃を割り引かない。(100円DAYにしない)
- ・車内に地元用の無料広告スペースを設けて、地元のイベント情報等を発信し、バスで来場してもらう。



〈100円DAYのちらしイメージ〉
今年8月3日(土)開催予定

事業者・行政にお願いしたいこと

利便性の向上

- 【乗り換え】 …白庭台駅での電車とバスの乗り換え時間を改善する。
- 【バスの本数】 …ひかりが丘から白庭台駅へ向かうバスを増便する。

今回のプログラムの振り返り

1. ひかりが丘住宅線及び生駒ニュータウン線の運行継続について

ひかりが丘住宅線及び生駒ニュータウン線の運行継続が決定したことを説明しました。これからもバス路線を維持していくため、今後も三者協議での話し合いを継続し、三位一体(利用者/地域・奈良交通・市)で利用促進に取り組む考えを説明しました。

2. なぜ今後も利用促進が必要？

市が今後財政支援して市内バス路線全体で収支均衡を図り、ひかりが丘住宅線及び生駒ニュータウン線の運行継続が決まったものの、利用が減れば、再度見直しが必要となるので、利用促進は今後も必要であることを説明しました。

現行の運行を続けるための条件について	
現行の運行を続けるための条件	
・ひかりが丘住宅線・生駒ニュータウン線 収支均衡	→あと1便あたり6.1人/便※の乗客が必要
※R4年度実績 目標人数25.6人/便(R4年度実績19.5人)	
・もしくは市内全体での収支均衡	→市内全体で約3千万円の赤字
これまでの資料より	現状での運行期限 令和5年度

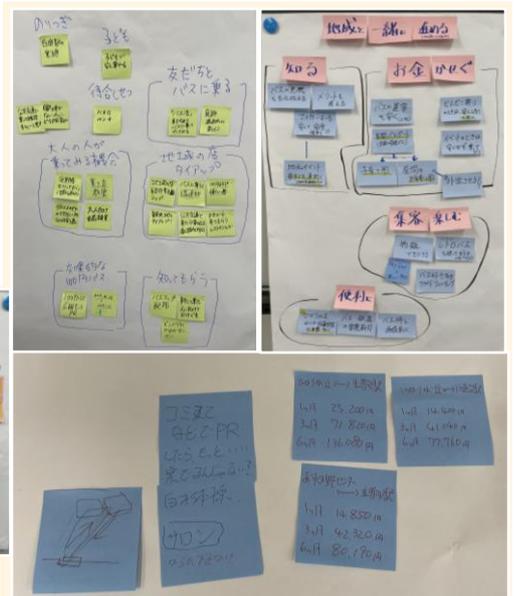
なぜ今後も利用促進が必要？	
→バス路線の運行を継続していくため	
(協議の期限がなくなっただけで、利用が少なければ見直しが必要になることは今後も変わらない)	
今後も継続する取組みについて	
利用者(地域)、奈良交通、市が三位一体で利用促進に取り組む。	
主体	内容
利用者(地域)	三者協議を通じて、地域が主体となった利用促進を実施など
奈良交通	市や利用者の取組みへの協調、CI-CA plusの利用促進など
市	バス運賃100円DAYの開催継続、市内交通マップの作成など
8月3日(土・とんどこまつり開催日)にバス運賃100円DAY開催決定！ 秋開催も計画中	
【資料2】なぜ今後も利用促進が必要？	

3. これまでの振り返り

前回の三者協議で話し合った内容の振り返りとして、「ひかりが丘住宅線及び生駒ニュータウン線第4～6回三者協議ニュース、令和5年度まとめ」を使って説明しました。

4. グループワーク

5つのグループに分かれて、ひかりが丘住宅線及び生駒ニュータウン線の利用促進のアイデアを話し合いました。



グループワークの結果(生駒市 HP でもご覧いただけます)

5. 次回について

今回のアイデアをもとに、次回は具体的な取り組み案を検討することを説明しました。

利用促進のアイデア・協力者の募集

今後利用促進の取組みを検討・実行していくためには、今回お集まりいただいた方々に加え、さらに地域が丸となって取組みを進める必要があります。利用促進のアイデアをお持ちの方、「こんなお手伝いならできる」という方は、ぜひ次回以降の三者協議にご参加ください。三者協議への参加が叶わない方は、協議に参加される地域の方、もしくは生駒市の下記連絡先までご意見やアイデアをお知らせください。

連絡先:生駒市 建設部 事業計画課
TEL 0743-74-1111 FAX 0743-73-3605

三者協議についての
生駒市 HP はこちら→

